

川添研究室

[ローカリティとユニバーシティ]

生産技術研究所

<http://www.kwz.iis.u-tokyo.ac.jp/>

建築設計・風景論

工学系研究科建築学専攻

ローカリティとユニバーシティ

私たちの研究室では、建築に何が可能か、という問いに向かい合い、実際の設計活動を通して、その答えを見つけてゆきたい。

そのためには、芸術、歴史、言語など文化に対する深い理解と、構造、環境、物質などの工学的知識が必要である。

建築の設計とは、人々が帰りたいと思える風景を作り出すことだと考える。



研究室風景

■実施中のプロジェクト

インド工科大学ハイデラバード校における建築の設計
日本の環境に適応したゼロエネルギービルディング (ZEB) の設計
東京大学本郷キャンパス総合図書館の設計支援
東日本大震災からの復興計画
環境情報技術を用いたレジリエントな国土のデザイン
渋谷のエリアマネジメントを担うshibuya1000の取組み
わらのいえ



インド工科大学

インド・ハイデラバードに建設されるインド工科大学新キャンパスにおいて建築デザインを行うと同時に、都市工学分野における日印の研究交流を活性化させ、IITHの人材育成に資することを目的としたプロジェクト。建物とランドスケープを一体的に考え、敷地に調和しながらも場所の性格を強調するような施設の形態を目指している。特に、気温の高い地域での自然通風や自然採光の活用方法を空気環境シュミレーションなどによる検討を行うことで、地域の気候条件に即した環境と建築形態の融合を図っている。

■研究室内の活動

実施コンペへの参加・・・海外コンペへの積極的参加
東京街歩き・・・東京の新しい観光マップ作成
読書会と論評作成・・・読書内容をアウトプットする
etc. (目下提案中)



TOKYO ZEB

民生部門でのエネルギー削減が一層求められる中、本研究では、ZEB化が困難とされる狭小な敷地での10階建てテナントオフィスのヴァーチャルプロトタイプを提案した。環境制御手法として、廊下や階段を利用したソーラチムニーを設置するなど、躯体のパッシブ性能の向上はもちろん、AI制御による輻射冷暖房を利用して躯体温度をダイナミックにコントロールする設備と構造の一体的提案を行った。再生エネルギー利用については、太陽光パネルを庇や二重屋根として有効利用し、日射遮蔽による熱負荷を低減させている。正面ファサードに設置された太陽光パネルは植物の葉のように、互いに影を落とさないような配置をとった。

川添研究室は今年から動き始めた研究室です。

川添講師を筆頭とした平均年齢26歳という若いチームで動き出そうとしています。

我々はまだ何色にも染まっておらず、これからの活動次第でいかようにも染められる可能性を秘めています。

これからの川添研究室をつくっていくお手伝いをして頂けるという方は、是非川添研究室に遊びに来て下さい。



川添研究室にて